

総務

庁舎移転関連予算 付帯決議を可決



総務常任委員長
森 治史

● 22年度一般会計決算

未収金、滞納は町の財政面で問題になるので、特に使用料の滞納は公平性の面から徴収について努力が求められる。

ふるさと納税制度に8人の方から260万円が寄付されました。

消防費1億3900万円の増額の主なものは、消防署移転用地の購入費用です。

● 23年度一般会計補正予算

調査建設費の用地測量、造成設計委託費2500万円について、その執行については議会と十分な協議調整を図ると共に用地測量の結果を踏まえ、造成設計予算の執行に務めるよう付帯決議を可決した。

議を可決した。

● 情報センター特別会計補正

13万6千円の補正は、4月の採用（公募）で6月のボーナス支給は発生しないと思っていたが、採用者が3月末まで町で雇用されており、継続勤務と見なすことで6月支給の関係で12月分が不足になるため。

● 熊野浦辺地に係る総合計画

辺地債の活用で携帯電話の利用が出来るように、熊野浦集会所東に基地局を設置します。



高台への新庁舎移転候補地(スケン谷)

教育厚生

小学校給食開始へ 一歩踏み出すー大方地区



教育厚生常任委員長
宮地 ちよこ

● 22年度決算

★住宅新築資金貸付事業
回収のみの事業ですが、収入未済額はまだ約8800万円あり、なお一層の回収努力が求められます。

★宮川奨学資金

前年度より収入未済額が不況を反映してか90万円増えています。

★介護保険事業

町もなるべく在宅生活を送れるように努めています。介護認定者が昨年より65人増え920人になり、その分保険料も大きくなっています。

● 補正予算

★教育費

給食センター新築工事設計委託費1400万円が計上されました。いよいよ大方地区の小学校の給食開始に向けて、一歩踏み出しました。

★宮川奨学資金

23年度は申込者が予定を9人超えて39人あり、貸付金252万円を追加する予算が計上されました。

● 訴えの提起

宿毛市にある介護サービス事業者に対して、介護給付金を不正に受給していたとして、介護給付費と加算金、合わせて約270万円の返還を求める訴えです。相手方に悪意があり、このままでは不正を認めることになるという点から、委員会でも訴えを認めることとしました。